

直江博子創作バレエ研究所

1955年、小樽駅前にてバレエ研究所を開設

1997年、創立 40 周年記念発表『くるみ割り人形』全幕 小樽市民会館

2007年、創立 50 周年記念発表会『ラ・パヤデル インカの舞姫』全幕 小樽市民会館

2017年、創立 60 周年記念第 30 回発表会『ジゼル』全幕 小樽市民会館

2年に一度の定期発表会とバレエコンサートを軸に、第 1 回目からの小樽潮まつりの参加や、小樽市文化祭への出演、2016年から文団協・雪あかりジョイント事業『A Crystal Night in Art Museum』に 2 年連続出演。クラシックバレエの基礎と表現力を大切に、豊かで自由な発想を活かし様々な表現活動を展開している。

主宰

上野亜希子 Ueno Akiko

2024 年

12/15 (日)

14:00~14:30

開催！

直江博子創作バレエ研究所 ダンスパフォーマンス

無意識とインキ



大江帆那 Oe Hanna

幼少より直江博子創作バレエ研究所でクラシックバレエを始める。『くるみ割り人形』雪の女王、『ジゼル』ミルタを踊る。2013 年ドイツのベネディクト・マンニーゲル・バレエスクールに留学しクラシックバレエ、コンテンポラリーダンス、キャラクターダンスを学ぶ。帰国後、当バレエ教室で講師となる。2015 年第 13 回北海道バレエコンクール創作部門にて「優秀賞」を受賞。「北に舞うⅢ」や雪あかりジョイント事業「A Crystal Night In Art Museum」、「明正雅紫盈開軒 55 年記念演奏会」にて作品を振付・創作し、発表する。



田中 啓 Tanaka Kei

5 歳より旭川にてバレエを始める。7 歳より高橋千悦子バレエスタジオ入所。高橋千悦子に師事。15 歳より緑ヶ丘バレエ札幌研究所入所。村田聖志に師事。2007 年リヨンコンセルヴァトワール留学(フランス) 2008 年マンハイムバレエアカデミー留学(ドイツ)卒業後カイザースラウテルンブファルツ劇場入団(ドイツ)、ハーゲン市立劇場(ドイツ)、チボリバレエ劇場(デンマーク)などで踊る。帰国後、足田智久主催ダンススタジオ R に所属し、演出振付作品を発表する傍らフリーで活動中。小樽市民会館 60 周年記念「くるみ割り人形全幕」にて、くるみ割り人形役を踊る。

澤 奈律希 Sawa Natsuki

幼少より直江博子創作バレエ研究所にてクラシックバレエを始める。2022 年「明正雅紫盈開軒 55 年記念演奏会」に出演。2023 年「小樽市民会館開館 60 周年記念公演『くるみ割り人形』」にてクララを踊る。役に入りきるダンサーで表現力を評価されている。

池邊萌雪 Ikebe Moyuki

幼少より直江博子創作バレエ研究所にてクラシックバレエを始める。芸術の森バレエセミナーにてジル・イゾアール先生にもレッスンを受ける。2022 年「明正雅紫盈開軒 55 年記念演奏会」に出演。2023 年「小樽市民会館開館 60 周年記念公演『くるみ割り人形』」にてコロビーヌを踊る。クラシックバレエやコンテンポラリーダンス作品に出演している。

絵画で見る【炭鉄港】三人展

「炭鉄港」は、北海道の近代化を支えた三都（空知・室蘭・小樽）を結ぶ名称です。空知の「炭鉱」を基軸に、室蘭の「鉄鋼」、小樽の「港湾」、これらを繋ぐ鉄道により北海道の発展に貢献した北の産業革命を表します。

特別展「絵画で見る【炭鉄港】三人展－伊藤光悦・輪島進一・羽山雅倫」では、産業構造の変化と国策の転換を受けた三都市に暮らし、悲劇的な状況にも目を背けずに描き続けた三人の画家を取り上げ、我々の心を揺さぶる絵画を紹介するものです。凄まじい変化を受けた三都市はそれぞれに活力を失い、人口流出の危機に晒されました。画家たちはその現実に向き、社会批判だけでなく、やがて地域が再び立ち上がろうとするさまを、詩情豊かに表現しています。

輪島進一は、直江博子創作バレエ研究所の上野亜希子の協力により、バレエを題材とした人物群像を描いています。本展では、鉄のまちとして発展を遂げた室蘭の製鉄所の圧倒的迫力に触発され、機械と人間を融合させたアンドロイドの連作を展覧します。ダンスパフォーマンスとのコラボレーションをご堪能ください。

特別展観覧券のみで、ダンスパフォーマンスをご鑑賞いただけます。

事前予約：市立小樽美術館 (tel 0134-34-0035)

2024. 10.19_{sat} - 12.28_{sat}



輪島進一 M のピエタ考